

4つの評価項目と 選考方法について

大学入試で求められる「学力の3要素」

受験生一人ひとりの能力や経験を、「学力の3要素」の全ての側面から評価します。

- 「知識・技能」
- 「思考力、判断力、表現力」
- 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

「学力の3要素」は、将来みなさんが企業や地域で多様な人々と仕事をしていくために必要な社会人基礎力（「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」）の土台になります。新たな大学入試は、未来の社会を支える人材育成につながっているのです。



総合的な学習成果を評価

愛知みずほ大学では、アドミッション・ポリシーに即した4つの評価項目を設け、学力試験だけでは測ることのできない能力や活動を評価する入試を実施しています。それぞれの評価項目と選考方法をしっかり確認し、自分の得意なところを活かせる入試方式でチャレンジしましょう。



4つの評価項目

01 知識・技能

選考方法と評価ツール

- 小論文
- 学力試験
- 調査書
- 推薦書

02 思考力・判断力・表現力

選考方法と評価ツール

- 小論文
- 学力試験
- 面接
- 推薦書
- 学修計画書

03 関心・意欲・態度

選考方法と評価ツール

- 面接
- 推薦書
- 志望理由書

04 求める人物像

選考方法と評価ツール

- 面接
- 志望理由書
- 学修計画書

建学の精神 アドミッション・ポリシー

Check!

「アドミッション・ポリシー」とは、こんな学生を求めていますという本学の受入方針です。各コースの特長やアドミッション・ポリシーを確認し、自分とマッチするコースを見つけるヒントにしてください。

建学の精神

「科学的思考に基づき健を探究できる人材の育成」

カレッジモットー

健への探究 - 豊かで活力ある健康社会に貢献する人をめざして -

アドミッション・ポリシー(入学者受け入れ方針)

愛知みずほ大学は、「健への探究—豊かで活力ある健康社会に貢献する人をめざして—」というカレッジモットーに端的に示された、建学の精神を理解し、「精神」と「身体」と「社会」の視点から健康を科学的に学び、社会に活かしたいという目的意識のある学生を求めます。入学者に対しては以下のような資質を備えていることを期待し、多様な人材を受け入れるために、多様な入試選考方法を設けています。

知識・技能	高等学校までに培われる基礎学力を身につけている人
思考力・判断力・表現力	伝えたい内容を、よく考えて、論理的に表現できる人
関心・意欲・態度	人間の心身の健康及び社会の健康について関心がある人、健康について主体的に取り組む意欲がある人、人とのつながりの中で、コミュニケーションや相手のことを大切にしている人

各コースが求める人物像は次のとおりです。(2年次にコースを確定)

健康科学コース	AI時代における社会を総合的な視点から捉え、健康な社会を実現しようとする意欲のある人
心理・カウンセリングコース	人と社会をつなぐ心と健康に関心があり、心理学を身につけたい人
健康スポーツコース	健康と運動・スポーツに関心があり、健康づくりの実践力を身につけたい人
養護・保健コース	自分及び周囲の人の心と身体の健康に関心があり、学ぶ意欲のある人

出願資格

本学に出願できる方は、次の項目のいずれかに該当し、各入試ごとの出願資格に該当する方です。

1. 高等学校又は中等教育学校を卒業した人
 2. 通常の課程による12年の学校教育を修了した人(通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した人を含む。)
 3. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した人、又はこれに準ずる人で文部科学大臣の指定した人
 4. 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人
 5. 専修学校の高等課程(修業年限が3年以上であること、ならびにその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人
 6. 文部科学大臣の指定した人
 7. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した人(旧規定による大学入学資格検定に合格した人を含む。)
 8. 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した人であって、当該者をその後本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた人
 9. その他本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められた人で、18歳に達した人
- ※個別の入学資格審査については、大学にお問い合わせください。